

山形大学紀要（医学）投稿規程

紀要（医学）編集委員会
平成11年3月2日制定
平成12年1月7日改正
平成12年9月5日改正
平成14年11月12日改正
平成16年4月1日改正
平成17年4月19日改正
平成19年3月6日改正
平成20年7月3日改正
平成23年4月1日改正
平成24年2月21日改正
平成28年12月20日改正
平成29年12月19日改正

1. 名称

本誌の名称は、「山形大学紀要（医学）[Bulletin of Yamagata University (Medical Science)]」(ISSN: 0288-030X) とし、文献引用に際しては、通称「山形医学（Yamagata Medical Journal; 略称 Yamagata Med J）」を用いてもよい。

2. 掲載記事および発行

本誌は医学医療の進歩発展に貢献する論文で他誌に発表されていない原著、総説、症例報告、CPC、学会抄録、医学部における学術講演会の要旨等を掲載し、年2回の発刊とする。

3. 投稿資格

投稿者は、原則として本学教職員、定年退職した者、現在本学に相当年数勤務している非常勤講師、本学の大学院研究科学生及び研究生とする。

4. 掲載の可否

原稿の採否並びに掲載号については山形大学紀要（医学）編集委員会（以下、委員会）に一任のこととする。原著論文については、編集委員会は2名の査読者に審査を依頼する。審査の結果必要ならば、編集委員会は原稿の修正等を求めることができる。

5. 投稿論文の提出

本誌への投稿の際には次のものを揃えて、委員長宛に提出する。

- 1) 手紙
- 2) 表紙
- 3) 抄録
- 4) 本文
- 5) 文献
- 6) 表・図版とその説明
- 7) 邦文論文にあっては欧文抄録

表紙を1頁、表・図版とその説明を最後として頁を加える。手紙は1通、他は正1部、副（コピー）2部を提出する。原稿にはA4判用紙を用い、原則としてワードプロセッサを使用する。

邦文は40字×30行とし、平仮名、横書き、現代仮名づかいを用いる。数字は算用数字を用いる。欧文では、必ずタイプを用い、ダブルスペースで、原則として80字×20行とし、3cmのマージンを空ける。邦文の原著、総説は原則として16,000字以内、症例報告は8,000字以内とし、表・図版は400字と換算する。欧文の場合は、原著、総説は25枚以内、症例報告は10枚以内とする。

査読終了後に投稿論文を収録したフラッシュメモリー、CD-R、またはフロッピーディスク（以下フラッシュメモリー等という）をウイルスの有無を確認の上委員長宛に提出する。フラッシュメモリー等には投稿論文（表・図版の説明を含めてもよい）以外のファイルを収録してはならない。

6. 手紙

この論文がこれまでに他誌に掲載されたことがない、または投稿中ではないことを述べた内容を含む。

7. 表紙

- 1) 論文名（これには略語を用いてはならない。）
- 2) ランニングタイトル（邦文25字以内、欧文40字以内）
- 3) 著者名
- 4) 所属教室名（または機関名）
- 5) 論文の連絡者名
- 6) ワードプロセッサの機種名、ソフト名（バージョンも記入のこと）、ファイル名を記入する。

8. 抄録

邦文においては800字以内、欧文においては200語以内とし、構成は、背景、方法、結果、結論とする。Key wordsを5つ以内付記する。

9. 本文

- 1) 構成は、緒言、対象と方法、結果、考察、謝辞とする。
- 2) 測定単位以外の略語は使用しない。ただし、標準的な略語は初めて表示する際に省略元の語句を明示した後に使用してもよい。
- 3) 文献は該当箇所の右肩に片括弧で引用順に記す。
- 4) 表・図は該当箇所に括弧で表示し、図版は印刷に耐えられるものとする。
- 5) 商品名、薬品名は一般名とし、単位、記号は国際単位を用いる。
- 6) 動植物、微生物等の学名は、邦文では片仮名とする。
- 7) 統計処理法を明記する。
- 8) 文部科学省科学研究費補助金等の研究費の出所は謝辞の項に記載する。

10. 参考文献

- 1) 引用順に一括する。
- 2) 私信、未発表データ、及び「未発行」または「投稿中」の原稿に対して番号をつけた文献は認めない。
- 3) 雑誌名の省略は、Index Medicus及び医学中央雑誌に従う。
- 4) 著者が6名以内の場合は全員を記載し、7名以上の場合は最初の6名のみを記載して後は「他」または「et al.」とする。
- 5) 記載形式は以下のとおりとする。

例①雑誌

1. 楊黄恬, 野呂田郁夫, 遠藤政夫: メトキサミンの強心作用とP I代謝促進効果. 心臓 1994; 26(Suppl.4): 24-28
2. Endoh M: Physiological and pathophysiological modulation of calcium signaling in myocardial cells. Jpn Circ J 1991; 55: 1108-1117

例②単行書

1. 遠藤政夫, 安部不二夫: 血管平滑筋内皮細胞におけるCaイオンの研究法. 江橋節郎編, エクオリン実験法. 東京; 学会出版センター, 1990: 291-301
 2. Watanabe T, Shimazaki Y, Saitoh H, Kuraoka S, Ji Wei Zhang, Oshikiri N, et al.: Nutrient blood flow in the canine brain perfused retrogradely during hypothermia. In: Kawashima Y, Takamoto S, eds. Brain Protection in Aortic Surgery. Amsterdam: Elsevier, 1997: 59-69
11. 表・図版
表・図版の説明は本文とは別にまとめる。表・図版・写真は、「図版台紙」に貼り付けするか、「図版台紙」に示された規格に準拠して作成する。
 12. 倫理
臨床治験に関しては「ヘルシンキ宣言」、動物を用いた研究は「山形大学動物実験規程」あるいはこれに準ずるものを遵守したものでなければならない。このことを本文中に明記する。
 13. 校正
校正はすべて著者が責任を持って行う。校正の段階での大幅な加筆や訂正は認めない。
 14. Native speakerによる校閲
欧文論文及び欧文抄録は著者の責任により論文の提出前にNative Speakerの校閲を受ける。表紙にNative Speakerの「所属・氏名等」を記入する。
 15. 著作権
論文を投稿する者は、山形大学に対して、当該論文に関する出版権・複製権・公衆送信権の利用につき許諾するものとし、公衆送信によって発生した対価はすべて山形大学に帰属する。なお、掲載された論文等は、原則として電子化するものとし、山形大学機関リポジトリに保存し附属図書館ホームページ等を通じてコンピュータ・ネットワーク上に公開する。
他者に著作権が帰属する資料を引用・転載する場合は、投稿者自身が著作権者の了解を得たうえで、出所を明記する。

附則

- この規程は、平成11年4月1日から施行する。
- 附則
この規程は、平成12年1月7日から施行し、平成12年1月1日から適用する。
- 附則
この規程は、平成13年1月1日から施行する。
- 附則
この規程は、平成14年11月12日から施行する。
- 附則
この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 附則
この規程は、平成17年4月19日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 附則
この規程は、平成19年3月6日から施行する。
- 附則
この規程は、平成20年7月3日から施行する。
- 附則
この規程は、平成23年4月1日から施行する。
- 附則
この規程は、平成24年2月21日から施行し、平成23年7月1日から適用する。
- 附則
この規程は、平成28年12月20日から施行する。
- 附則
この規程は、平成29年12月19日から施行する。

その他の注意事項

1. 本学の大学院研究科学生及び研究生の投稿について
「学位論文」及び「本学教職員との共著論文」である場合に投稿が認められます。学位論文については指導教員の承認を得てください。
2. 「学会報告」について
別に申合せが定められていますので、新たに投稿を希望される場合は予め医学部事務部学務課図書担当へお尋ねください。
3. 「海外ニュース、トピックス等」について
本学部関係の海外研究者の方が、現地での研究の動向（ニュース、トピックス等）を投稿する場合は、
 - 1) 邦文：40字×30行で作成の原稿4枚以内
 - 2) 欧文：80字×20行で作成の原稿6枚以内としてください。また、本学における所属講座（責任講座）を明記するようにしてください。
4. 査読者について
希望する査読者がいる場合は、3人程度お知らせください。査読者は、学内の方を原則といたします。
ただし、希望する方が実際に査読者になるとは限りません。
5. その他不明な点は、医学部事務部学務課図書担当までご照会ください。